

氏名	佐古智子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4479 号
学位授与の日付	平成24年3月23日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	Impact of overactive bladder and lower urinary tract symptoms on sexual health in Japanese women (過活動膀胱と下部尿路症状が日本人女性の性的健康に与える影響)
--------	---

論文審査委員	教授 平松 祐司 教授 片岡 仁美 准教授 難波 祐三郎
--------	------------------------------

学位論文内容の要旨

排尿筋過活動など種々の病態により生じる一連の症状群を下部尿路症状 (LUTS) と呼ぶ。我々は日本人女性における LUTS と女性性機能について病院に勤務する 576 人の女性に質問票を郵送し、性機能と排尿症状について評価を行った。性機能評価には Female Sexual Function Index (FSFI) スコアを用いた。全問回答で評価可能であったのは 146 名であった。72 名 (49.3%) が下部尿路症状を経験しており、17 名 (11.6%) が切迫性尿失禁を、35 名 (24.0%) が腹圧性尿失禁を経験していた。FSFI スコアの平均は 22.4 ± 9.0 であった。腹圧性尿失禁を有する群では有さない群と比べて有意に平均 FSFI スコアが低かった。 ($P=0.04$) その他の症状の有無については FSFI スコアに有意な差を認めたものはなかった。以上より、性機能障害に腹圧性尿失禁が関連することが示唆される。

論文審査結果の要旨

本研究は sexual activity のある各年代の女性を対象にアンケート調査し、過活動膀胱と下部尿路症状が性機能に与える影響を検討したものである。性機能評価は FSFI スコアを用い、性欲、興奮、潤滑、絶頂感、満足、痛みについて評価している。このうち、性欲、興奮、潤滑は若い年代で高いが他項目では差を認めていない。また、腹圧性尿失禁を有する群では有さない群に比べて有意に平均 FSFI スコアの低下を認めている。これは性交渉中の失禁を懸念しているものと推測している。

女性は出産を契機に骨盤底筋の弛緩がおり、下部尿路症状が出現しやすい。しかし、下部尿路症状で受診しても、日本人女性の特徴として性機能障害を訴えることは少ない。今後、これらの女性に対し、この点にも配慮することの重要性を本論文は指摘しており、価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。